

学校関係者評価結果対応書

令和 6 年 2 月 8 日

尾道市立高西中学校

項目	課題	対応・改善策等
主体的な学びの実現	<p>○自由進度学習や、選択肢のある学習の基盤として、協働的な学びができる学習集団づくりが必要である。</p> <p>○1, 2年生について、基礎・基本的な学力の向上に一層努める必要がある。</p>	<p>○生徒の自己実現や主体的な学びの実現に向けて、その根底である安心・安全な居場所づくりを学校全体で進めていく。</p> <p>特に、特別活動における、全校学活や学級力向上プロジェクトを計画的に実施する。</p> <p>○生徒の興味関心や習熟度を把握したうえで、生徒に「なぜ」と思わせるような問いにこだわったり、生徒の理解を助ける構造的な板書やプリントをつくったりして「わかる授業」をつくっていく。</p>
お互いの個性を認め合える集団の実現	<p>○生徒が主体性を発揮し、協働する必然性がある活動を仕組む必要がある。</p> <p>○普通学級などにおいても、SSR の考え方を生かした、共感的な人間関係づくりを進める必要がある。</p>	<p>○学校行事、学級活動、生徒会活動等の場において、生徒の自治的な活動を意図的に仕組む。</p> <p>また、それらが「挑戦の機会」と「感動体験」を共有する場となるよう学校全体で取り組む</p> <p>○SSR の設置に伴い、それぞれの生徒の教育的ニーズに対応しながら、安心・安全な居場所づくりに向けて取組を加速させることができた。</p> <p>一方で、SSR の運営方法やあり方については、生徒の実態に応じて柔軟に見直しを進める。</p>
働き方改革の実現 教育の質を高める	<p>○学校規模も大きいなか、スピード感をもって新たなチャレンジを積極的に行ったことから、時として教職員間における目的や情報の共有が不十分だったことがある。</p>	<p>○たとえ短時間でも、毎週定期的に学校経営会議を実施し、目的・情報共有を徹底する。</p> <p>○学校経営会議や衛生懇話会を通じて、教職員からのアイデアを吸い上げ、その実働化に努める。</p> <p>また、教育の質を高める「働き方改革」のR P D C Aをまわし、学校体制で推進する。</p> <p>○新たに転入した教員に対しては、さらにきめ細やかな指導・支援を通して、本校教育への積極的な参画を促す。</p>

